

※以下の内容を記入し、**走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2018 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2018 本走行 2018/ 11/11(日)

ロボット No.: 1857-2

ロボット名: Mr. DQN

チーム名: 明治大学 MORIOKA LAB.

記載責任者: 加藤 勇氣

[1] 本走行前後の実験走行について

1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

目的: 最終調整

準備: 特になし

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

深層強化学習と RTK-GNSS による自律走行

2.2 実験成果

前日から進展はないが、確認走行区間を自律走行できた

[2] 本走行について

1 設定した目標

公園までの走行

2 本走行の結果

確認走行区間を少し超えたあたりで走行を継続できなくなりリタイア

3 どこまで目的が達成されたか

グリッドマップをほぼ用いずに自律走行を行うこと、マイルストーン 1 を達成すること、という 2 点において満足のいく結果となった。

4 失敗した場合は、その理由として考えられること

本走行で走行を継続できなくなった原因はハードウェア側の問題であり、それさえなければ公園まで走行し、目標を完全に達成できた可能性が高い。理由としては、普段からロボットの整備をしていなかったことが考えられる。

[3] 運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。